

集落営農による水田高度利用と 女性活躍による次世代の育成 (鹿児島県いちき串木野市川南地区)

【取組内容】

基盤整備の実施により、大型機械の導入による農作業の省力化、排水改良等による普通期水稻とWCSの混作、裏作に野菜等の高収益作物の導入、大麦の規模拡大など、水田高度利用による農産物の生産拡大及び品質の向上が図られた。

また、事業実施を契機に農事組合法人を設立。麴用米、大麦及びレタスなどの栽培の他、余剰労働力を活用した農作業の受託、ライスセンターの運営受託など地域営農に貢献。さらに、6次産業化等による農産物のブランド化や新たな販路開拓・輸出など農産物の高付加価値化等に取り組んでいる。



整備前の5a~10a区

基盤整備



整備後の区画

【取組に至った経緯】

本地区は昭和初期に5~10aの小区画で整備された水田地帯であるが、湿田のため農業機械の大型化の導入が困難である等、営農に支障が生じていた。

このような中「川南地区環境保全会」を設立。その後「地域農業が持続的に発展するしくみ」について、近代化農業の導入などに向けた気運が高まり、ほ場整備導入の地元推進委員会を設立。併せて「大里営農推進協議会」を発足し、「人・農地プラン」による地域農業のあり方、「農地中間管理事業」（平成26年）による農地集積のあり方及び集落営農の組織化に向けた話し合い活動を実施。

【取り組む際に生じた課題と対応】

- 課題
 - ・汎用化水田を活用した水田フル活用の営農体系の確立
 - ・集落営農の組織化による中核的な担い手の確保・育成
- 対応
 - ・集落営農組織法人化に向け、法人化のメリットやスケジュールを明確にし、営農計画の作成・法人設立の各種手続きを計画的に実施。



レタスの栽培



たまねぎの栽培

【取組の成果】

○集落営農組織への農地集積

令和元年度に「農事組合法人夢ファーム大里」を設立し、集積による農地利用の効率化及び高度化。（集積率：69%）

○Iターン就農者への農地集積，法人売上の増加

新規就農Iターン者に農地を集積、農地利用の高度化を推進、併せて地域の雇用を確保。（集積：0 → 7.2ha，社員・臨時雇用：7名）

主幹作物レタスを中心とした契約栽培を行い、法人の売上げが大幅に増加。（1,520万円 → 4,840万円）※法人売上に地区外経営分含む。

○女性の活躍と次世代の育成

いちご経営（約0.4ha）行っている女性農業経営士は、農園に中高生の修学旅行を受け入れるなど、未来の担い手の農業への理解促進にも取り組む。（年平均約20名）



排水不良田



共同利用の
ハイクリベーム

【今後の展開】

本地区をモデルとして、近隣地区へ取組を波及させ、労力補完に向けた地域間連携も検討。

【問合せ先】鹿児島県農地整備課 TEL 099-286-3236

国営施設応急対策事業 大淀川左岸地区
みやざきし こぼやしし ひがしむろかたぐんあやちよう
 (宮崎県宮崎市、小林市、東諸県郡綾町)

本地区は、宮崎県の中心部に位置する宮崎市、小林市及び東諸県郡綾町にまたがる1,632haの農業地帯である。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営大淀川左岸土地改良事業（昭和53年度～平成19年度）により造成されたが、ダム管理施設においては、落雷による遠方監視制御施設の故障、水管理システムの子局においては、湿気に伴う基板の腐食により、ゲートの誤作動等の不測の事態が発生し、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、維持管理に多大な費用と労力を要している。また、幹線水路においては、素掘トンネルの剥離やコンクリート構造物の摩耗等による施設の性能低下が生じており、今後、更なる性能低下が進行した場合、農業用水の安定供給に支障を来すとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要することとなる。

このため、本事業では農業水利施設の機能を保全するための整備を行うことにより、農業用水の安定供給、農業水利施設の維持管理の費用と労力の軽減及び施設の長寿命化を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資することとしている。



広沢ダム（管理施設の改修）



作物作付状況（日向夏）

国営施設応急対策事業 川南原地区
こゆぐんきじょうちよう こゆぐんかわみなみちよう
 (宮崎県児湯郡木城町、児湯郡川南町)

本地区は、宮崎県の中央部に位置する児湯郡木城町及び川南町にまたがる659haの水田地帯である。

本地区の基幹的な農業水利施設は、高鍋川南開拓建設事業（昭和15年度～昭和35年度）等により造成・改修されたが、幹線用水路においては、目地からの覆工背面の細粒分を含んだ湧水の流入による地表部の陥没等の不測の事態が発生し、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、維持管理に多大な費用と労力を要している。また、幹線用水路においては、ひび割れや摩耗等による施設の性能低下が生じており、今後、更なる性能低下が進行した場合、農業用水の安定供給に支障を来すとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要することとなる。さらに、一部の施設においては、大規模地震により損壊した場合、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがある。

このため、本事業では農業水利施設の機能を保全するための整備と耐震のための整備を一体的に行うことにより、農業用水の安定供給、農業水利施設の維持管理の費用と労力の軽減及び施設の長寿命化を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資することとしている。



明渠及び坑口



作物作付状況（水稲）